11月29日　中日新聞夕刊掲載記事

伊勢町から

女性投資家の育成を

「いちごの会」を体験

先日、「いちご」の会」に参加した。かわいらしい響きを放つこの会は、木村証券（名古屋市）が6年前から女性のために開いている投資セミナーだ。男性のイメージが強い証券業界で、スタッフも全員女性社員という徹底ぶりに、一度体験したいと思っていた。

入会は無料で、1年に6回前後の講義を受けて〝卒業〟となる。投資の基本の「き」がタダで学べるとあって、毎年一定数の会員が集まる。昼と夜の講義があり、主婦から会社帰りの会社員までが気軽に門をたたく。

参加した昼の講義は17人が出席。講師を務めた同社の男性ベテランディーラーが、優しい言葉で「投資の第一歩は新聞を読むこと」と語り始めた。参加者は熱心にペンを動かしている。

隣に座った同市の40代の女性は「父から株を引き継いだのだけど、なかなか難しくて。株主優待がいいのを選びたい」と女性ならではの意見。同会は3カ月に1回、会員向けに女性スタッフ作成の株主優待資料を届けている。

果たして証券会社にとっての効果は―。「お取引に結びつく場合もありますが…」と担当者。会の語源は「一期一会」という。地道だが意義は大きい。長く続けてほしい。

（坂田奈央）